

# MIZBERING GUIDANCE BOOK

巷で話題の“ミズベリング”とは?  
水辺とまちをもっと輝かせるために



# ミズベリング・プロジェクトとは

日本ではまだ十分に活用されていない国内の水辺環境に対する  
社会の関心を高め、その新しい活用の可能性を  
切り拓いていくための官民一体の協働プロジェクトです。

ミズベリングは「水辺 + リング(輪)」の造語。

水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体・1つの輪となり、  
水辺の未来を語り合う持続可能な運動体として、  
様々な場づくりを実現していきます。

そして水辺を愛する多くの人を巻き込み、都市と水辺が一体となった  
魅力ある街づくりのためのムーブメントを、ここから起こしていきます。

水辺のアクションをみんなで起こせば、  
日本のまちはもっと輝くはずだ。

ミズベリング、5つのアクション

- 
- ① つなごう
  - ② かたろう
  - ③ ためそう
  - ④ つくろう
  - ⑤ 育てよう



「水辺の未来」を考える人がつながれば、  
大きなムーブメントが始まるはずだ。

ミズベリング・プロジェクトのスタートは、まず何でもいいから仲間を集め、水辺に興味や関心を持ってもらうことです。近所の川の過去・現在を地域の人に話してもらって、みんなで未来はどうあったらいいか？どんな水辺が理想か？もっと恋人と手をつなげる場所にするには、どんなベンチや河川敷が良いか？とか、みんなで自由に発言、それをみんなで楽しむ場づくり、基地づくりが重要ですね。





「水辺の可能性」をみんなで掘れば、  
思いもよらないアイデアが浮かぶはずだ。

水辺に何があつたらいいか、出来たらいいかを絵に描いたり、想いを発表することを習慣にしてください。妄想も話していたら実現した！なんて話もよく聞きます。肩書を外し、上下関係をフラットにして人のアイデアに耳を傾け、それが面白いと思えば突き進めばいい。いまの時代、発想した者の勝ち、やった者の勝ち。前例がないのなら、前例をつくればいいんです。それがきっと伝説になりますよ。

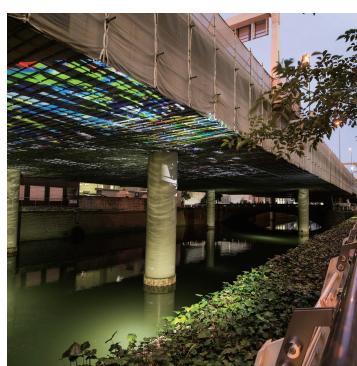




ためそう

「水辺でのチャレンジ」が増えていけば、  
世の中はもっと水辺に注目するはずだ。

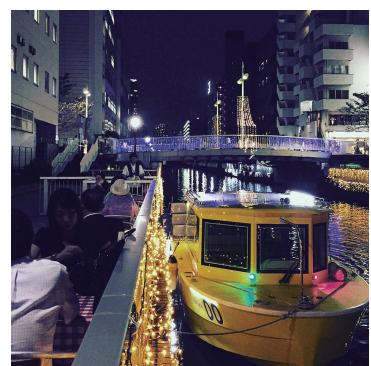
アイデアが浮かんだら、「一度、社会実験でやらせてください！水辺のイメージが変わりますよ！」と、河川管理者を巻き込んで実際に動いてみることが大事な事例づくりと経験になります。写真のように「川床」「高架下映像照射実験」「セグウェイ河川敷走行」など、川をメディアに見立てれば、新しいことは自白押し。「そんなの出来っこない」ではなく、「やってみる」。それが、まさに逸脱者のミズベリング道！





「水辺を通したまちづくり」が進めば、  
日本のまちは世界がうらやむまちになるはずだ

全国には、水辺の可能性に早くから目をつけ、動き始めている人がいます。水辺を一望するテラスやホテル、波止場の隣接的 Bar & Restaurant など、それまで未開発のただの川っぺりだったものを、ちょっとリノベただけで小粋な賑わいスポットにしてしまいました。法的規制を河川管理者と相談して乗り越えて、全く新しい水辺の風景をつくることに成功しています。Impossible is Nothing !





「水辺での暮らし」をみんなで育てていけば、  
人生はもっと豊かになるはずだ。

水辺に人を集め、同じ時間を共有し、水辺の時間をゆるゆると楽しむ。水面を見ながら漂い、まどろむ。コーヒーを淹れる、ビールを飲む、夕陽を楽しむ、ひとりでふたりで、みんなで、大勢で……。そんな集まりが全国の川で開催され始めています。友達同士、町内同士、親も子も。川コミュニティをどんどん増やすことが水辺の体験と創造を深めていくんですね。水の流れから学ぶことは多し、です。





ミズベリング・プロジェクト事務局  
[mizbering.jp](http://mizbering.jp)